

農 研 速 報

令和3年8月5日発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX029-239-7306

麦の生育状況

地域名	麦種 (品種)	生育 ステージ	対平年 遅速	生育(作柄・品質)概況等
水 戸	11月5日播種			
	小麦 (さとのそら)	収穫済	平年並	気象概況:麦類の生育期間(過去5年間の平均値との比較、図1) 平均気温:11月(概ね播種から出芽期)はやや高く、12月～2月(概ね出芽期から分けつ期)は平年並、3月(概ね茎立期)はかなり高く、4月(概ね小麦の茎立期から出穂期)は平年並、5月～6月第4半旬(概ね小麦の出穂期から成熟期)は平年並だった。 降水量:11月はかなり少なく、12月～2月は平年並、3月はやや多く、4月はかなり多く、5月～6月第4半旬はやや少なかった。 日照時間:11月はかなり多く、12月～2月はやや多く、3月はやや少なく、4月はかなり多く、5月～6月第4半旬はかなり少なかった。
	六条大麦 (カシムムギ)	収穫済	やや遅い	生育の概要(表1、図2) 11月5日播種では、生育初期は主稈葉数および茎数が平年より少なく推移したが、2月～3月に茎数は平年並となった。出穂期は平年より早かった。成熟期は、大麦で平年より遅く、小麦で平年並だった。穂数は平年並だったが、カシムムギで少なかった。整粒重は平年並だった。 11月20日播種でも同様に主稈葉数、茎数は平年より少なく推移した。出穂期は平年より1日早く、成熟期は平年並だった。穂数は平年並だったが、整粒重は平年よりやや低かった。
	(カシマゴール)	収穫済	やや遅い	
	11月20日播種 小麦 (さとのそら)	収穫済	平年並	各麦の生育概要は次のとおりであった。 (11月5日播種) ●さとのそら 主稈葉数は平年より少なく推移した。茎数は2月まで平年より少なかったが、3月以降平年並～多くなった。 出穂期は平年より3日早く、成熟期は平年並だった。 穂数は平年並で、一穂当たり稈実粒数はかなり多かった。 整粒重は51.2kg/aと平年並だった。 千粒重はやや重く、容積重は平年並で、タンパク質含有率はかなり高かった。 ●カシムムギ 主稈葉数は平年より少なく推移した。茎数は2月まで平年より少なかったが、3月以降平年並となった。 出穂期は平年より5日早く、成熟期は3日遅かった。 穂数は少なく、一穂当たり稈実粒数がかなり多かった。 整粒重は54.8g/aと平年並だった。 千粒重は重く、容積重はやや軽く、タンパク質含有率は平年並だった。 ●カシマゴール 主稈葉数、茎数は2月まで平年より少なく推移したが、茎数は3月以降に平年並となった。 出穂期は平年より4日早く、成熟期は3日遅かった。 穂数は平年並で、一穂当たり稈実粒数がかなり多かった。 整粒重は52.2kg/aで平年並だった。 千粒重はかなり重く、容積重は重く、タンパク質含有率は高かった。 (11月20日播種) ●さとのそら 主稈葉数、茎数は2月まで平年より少なく推移したが、3月以降は平年並となった。出穂期は平年より1日早く、成熟期は平年並だった。 穂数、一穂当たり稈実粒数は平年並だった。 整粒重は43.4kg/aとやや低収だった。 千粒重はやや重く、容積重は重く、タンパク質含有率はかなり高かった。
			※対平年遅速 は、成熟期を 基に表記した。	

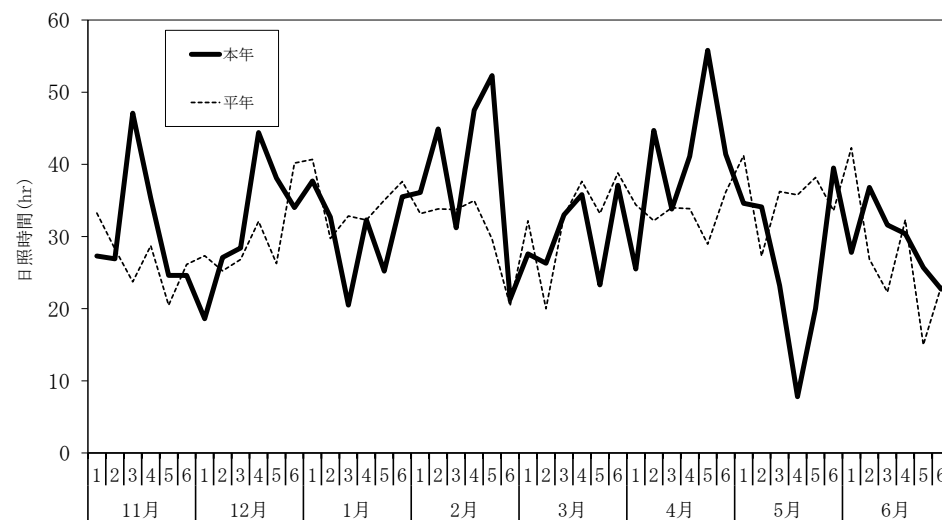
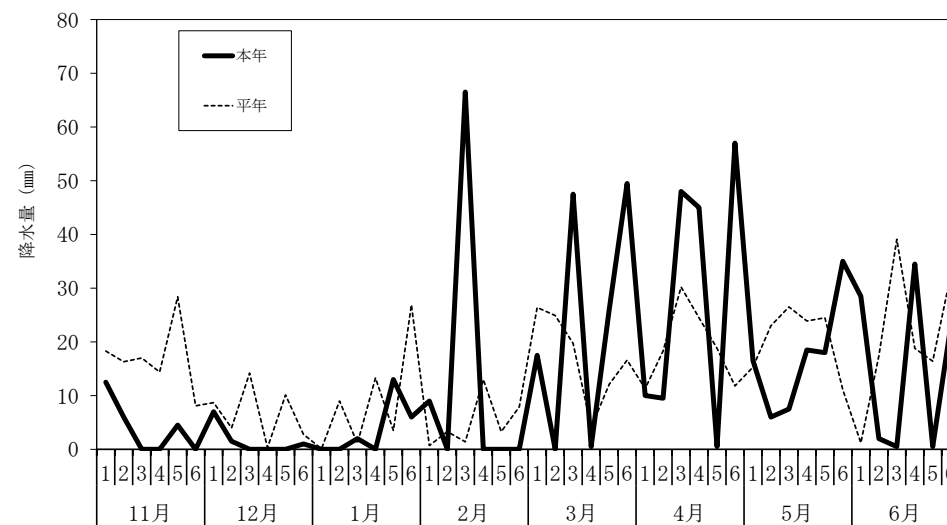
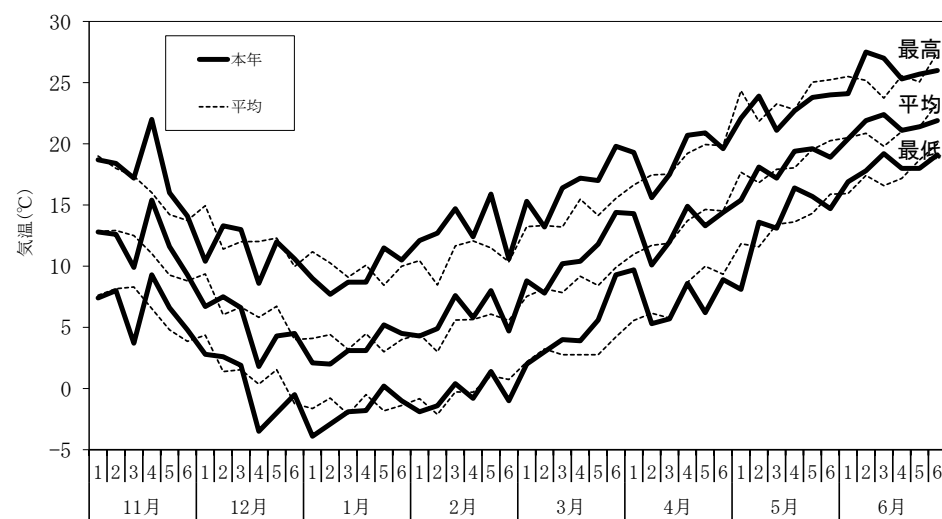


図1 令和2～3年半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)

表1 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月.日)	麦種	品種名	出穂期			成熟期			登熟日数			稈 長			穂 長			穂 数		
			本 年 (月.日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (月.日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	4.13	+1	-3	6.5	-1	0	53	-2	+4	91.7	116	108	8.4	98	97	682	129	94
	六条大麦	カシムムギ	4.03	+1	-5	5.25	+6	+3	52	+5	+8	95.0	124	111	4.4	110	104	465	110	84
		カシマゴール	4.02	+1	-4	5.25	+5	+3	53	+4	+7	91.4	103	104	4.3	109	108	655	143	98
11.20	小麦	さとのそら	4.19	+2	-1	6.7	-1	0	49	-3	-1	79.9	111	100	7.0	100	85	627	134	95

播種期 (月.日)	麦種	品種名	倒伏程度			一穂当たり稔実粒数			粗子実重			整粒重			整粒歩合		
			本 年	前 年	平 年	本 年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)
11.5	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	32.7	120	114	53.2	152	97	51.2	147	94	96.2	99.0	98.7
	六条大麦	カシムムギ	0.4	1.0	1.4	59.5	117	117	60.2	138	98	54.8	146	107	91.0	86.1	84.0
		カシマゴール	0.0	0.5	1.1	60.2	116	128	60.7	122	91	52.2	118	99	85.9	88.9	78.5
11.20	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	28.2	114	101	44.5	167	86	43.4	165	85	97.6	98.8	98.5

播種期 (月.日)	麦種	品種名	千粒重			容積重			タンパク質含有率			外観品質			検査等級		
			本 年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (g/L)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	前々年
11.5	小麦	さとのそら	40.9	105	103	831	104	101	12.0	11.5	11.1	5.5	5.5	5.4	1	1	1
	六条大麦	カシムムギ	33.5	111	109	710	102	98	9.9	7.9	9.7	5.5	6.0	5.2	2	1	1
		カシマゴール	32.2	108	106	750	105	103	10.8	8.7	9.6	5.5	5.0	5.4	2	1	1
11.20	小麦	さとのそら	41.2	106	106	841	106	102	12.9	12.5	11.5	5.5	6.0	5.6	1	1	1

播種期 (月.日)	麦種	品種名	本年 粒厚分布(重量%)							平年 粒厚分布(重量%)						
			2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下	2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下
11.5	小麦	さとのそら	67.0	23.8	3.7	1.7	0.9	1.4	1.5	63.4	29.2	4.8	1.3	0.8	0.4	0.1
	六条大麦	カシムムギ	2.9	45.7	22.7	14.0	5.7	6.9	2.1	3.3	32.0	23.3	15.6	9.8	11.4	4.6
		カシマゴール	0.9	28.7	25.4	21.7	9.2	10.8	3.2	2.6	23.2	23.1	18.2	11.4	14.1	7.4
11.20	小麦	さとのそら	68.3	24.7	3.1	1.4	0.4	0.7	1.2	60.7	30.2	6.1	1.6	0.7	0.6	0.1

注) 1) 圃場(来歴): 表層腐植質黒ボク土(前作休耕)

2) 播種量: 0.8kg/a

3) 施肥量: N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.6-0.6kg/a

4) 播種様式: 畦幅30cm、シーダーテープ播種

5) 平年値: 平成27～令和元年播種の結果の平均。

6) 麦踏み: 12月16日、1月7日、2月1日

7) 倒伏程度: 0(無)～5(甚)の6段階

8) 整粒重: 小麦は2.3mm、六条大麦は2.2mmの篩上の子実重。

9) 千粒重・容積重・タンパク質含有率はグレーダー調整後の整粒で計測した。

10) 粗子実重・整粒重・千粒重は、小麦が水分12.5%、六条大麦が水分13.0%に換算した。

11) タンパク質含有率は近赤外線多成分分析機(インフラテック1241型)による。水分13.5%換算。

12) 外観品質: 1(上の上)～9(下の下)

13) 検査等級: JA全農いばらき米穀部による。1: 1等、2: 2等、外: 等外

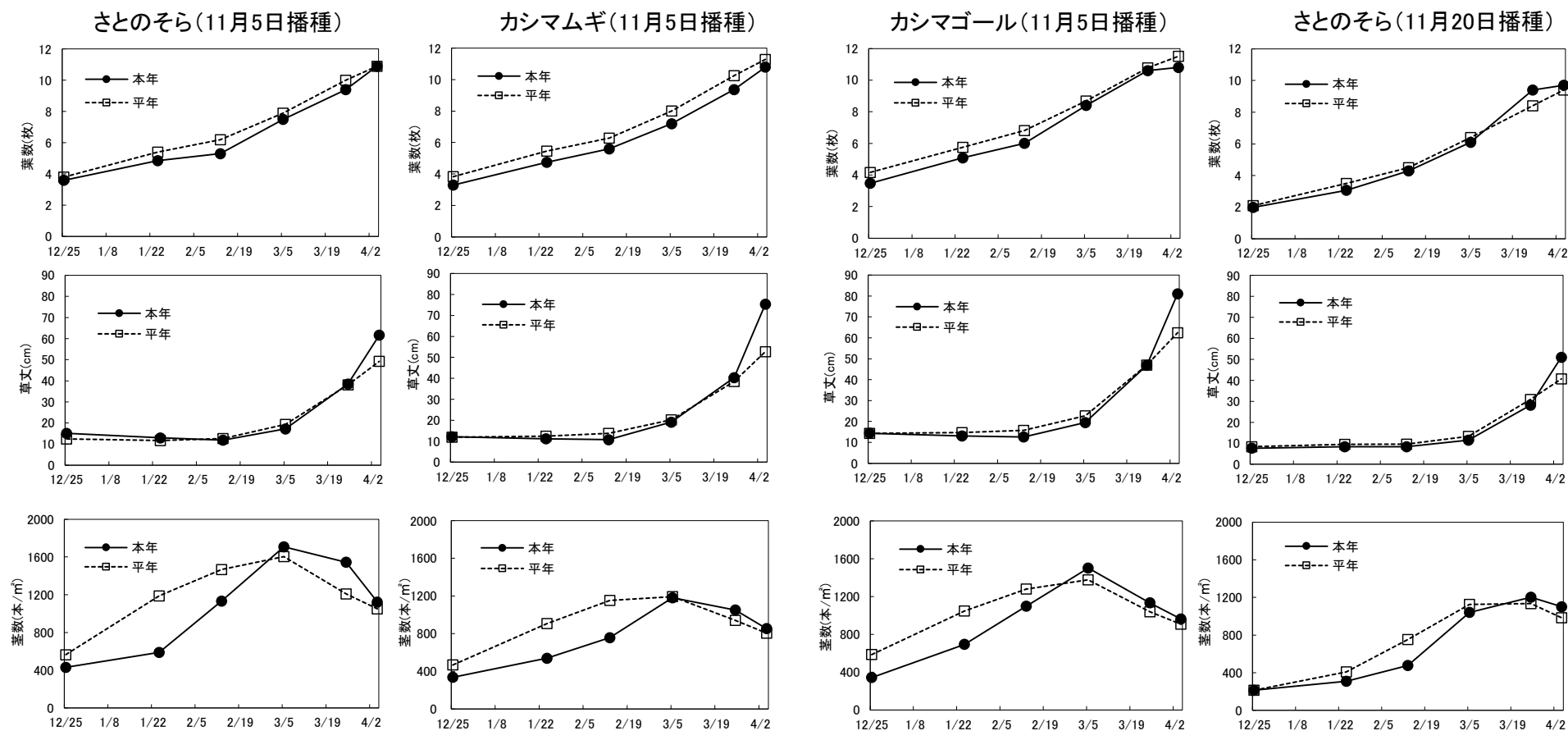


図2 葉数・草丈・茎数の推移

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

